

【福祉健康委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	1
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	安全で安心なまちづくり
第4節	安心して暮らせる支え合いのまち

点検評価項目	1 新たな時代に対応した福祉サービスの提供					
	(1)総合的なサービス提供体制の構築					
	①保健・医療・福祉サービスの連携					
	保健・医療・福祉のサービスを一体的・効果的に提供できるよう、既存の取組を生かしつつ、包括的な支援体制の構築に向け関係機関・団体との連携を強化し、重層的支援体制の構築を目指します。					
	数値目標	—				
	年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
	目標値	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和5年度取組・進捗状況					
	<p>令和5年4月から、社会福祉協議会に包括化推進員を3名、市の生活支援相談課に庁内包括マネージャーを1名配置し、単独の機関だけでは対応が困難な事案のコーディネート等を行う「多機関協働事業(重層的支援体制整備事業への移行準備事業)」を開始。複合・複雑化した支援ニーズに対し、関係機関が連携して対応するための仕組みづくりに取り組んだ。</p> <p>1.会議体の形成 市内の支援機関や市の担当課等による4層の会議体を作り、情報共有や意見交換をはじめ、重層事業の方向性や新たな社会資源の検討、個別のケース対応に関する協議を行う場を形成。(延べ42回)</p> <p>2.支援機関の巡回訪問 高齢、障害、医療分野等の支援機関へ、延べ57回の巡回訪問を行い、重層的支援体制の事業説明のほか、複合・複雑化した課題や、はみ出し支援の内容、新たに求められる支援サービス等のヒアリングを実施。</p> <p>3.相談事案のコーディネート 支援機関から寄せられた相談事案について、関係機関による支援会議を開催し、課題の解きほぐしや役割分担を行うなど、ケースワークの実践を通じた円滑な連携体制の構築に取り組んだ。(延べ相談件数203件)</p>					
	取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
	<p>令和7年度の重層的支援体制の本格実施へ向け、複合・複雑化した課題に対応するとともに、支援機関の負担が軽減されるよう、円滑に連携できる体制づくりを進める。また、多様な社会参加を支援するため、制度の狭間で対応できなかった課題に対応する新しい社会資源(※)の開発や、ひきこもり状態にある方などの潜在的な要支援者への働きかけなど、新たに実施する「参加支援事業」や「アウトリーチ事業」等の内容について検討を進める。</p> <p>※社会資源…支援ニーズに対応するための事業、人材、団体、機会等の総称。</p>					

担当課	福祉企画課、生活支援相談課、高齢者支援課、福祉援護課、障害福祉・国民年金課、健康づくり課、地域医療課、こども家庭しあわせ課
-----	---

【福祉健康委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	2
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	安全で安心なまちづくり
第4節	安心して暮らせる支え合いのまち

点検評価項目	1 新たな時代に対応した福祉サービスの提供					
	(1)総合的なサービス提供体制の構築					
	②福祉人材の確保・育成					
	高齢化・人口減少が進行する中、多様な生活課題を抱える高齢者や障害者が安心して生活するための取組を進めていくため、北部・市・町が一体となり、各福祉施設や舞鶴YMCA国際福祉専門学校と連携し、より専門性が高い人材を確保・育成します。また、外国人の留学生や福祉人材の受入を積極的に推進します。					
	数値目標	舞鶴YMCA 国際福祉専門学校・介護福祉学科・入学者の定員充足率				
	年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
	目標値	36.3%	57.5%	60.0%	62.5%	62.5%
	実績値		41.3%			
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
	令和5年度取組・進捗状況					
	<p>増加する高齢者や障害者等の福祉ニーズを支える人材の確保、育成が喫緊の課題である中、福祉人材の養成拠点であるYMCAの学生を確保する取組のほか、福祉の仕事に興味を持つきっかけづくり等を目的としたイベントを開催。</p> <p>1.高校訪問 近隣市町の高校33校をYMCAと合同で訪問し、YMCAのPRや奨学金制度の紹介、介護福祉士の資格を取得するメリットについて説明。高校生数が減少する中、学生の確保に苦戦しており、令和5年度の入学者数は18人。</p> <p>2.「みんなの福祉フェスタ」開催 福祉の仕事に興味を持ってもらうこと等をコンセプトに、YMCAを会場として、市内の社会福祉法人等による就職説明会に加え、高齢・障害分野の事業所や、福祉用具の事業所、介護職のグループ等と連携したイベントを開催。(令和5年11月11日開催)</p>					
	取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について					
	引き続き、YMCAと連携し、高校へのPRに取り組むほか、福祉の仕事に興味を持ってもらい、福祉人材のすそ野を広げる取組や、外国人留学生がYMCAを選ぶインセンティブの検討等を行い、学生確保に取り組む。					

担当課	福祉企画課、高齢者支援課、障害福祉・国民年金課
-----	-------------------------

【福祉健康委員会】第7次舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目 進捗状況

No.	3
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第2章	安全で安心なまちづくり
第4節	安心して暮らせる支え合いのまち

点検評価項目	1 新たな時代に対応した福祉サービスの提供					
	(1)総合的なサービス提供体制の構築					
	③福祉人材の定着支援					
	福祉に関わる人材が、誇りと働きがいを感じ、長く働き続けることができるよう、各福祉施設でのDX（※）の視点を取り入れた、データやデジタル技術を活用した介護業務の負担軽減や、対象者の生活の質の向上に繋がるICT（情報通信技術）の導入・活用などの取組への支援を行い、働きやすい環境づくりを促進します。 ※デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること。					
	数値目標	—				
	年度	2022年	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)
	目標値	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
	数値目標に係る特記事項					
	点検評価項目施策の推進に係る説明					
令和5年度取組・進捗状況						
福祉施設にDXの視点を取り入れ、業務の改善や効率化を進めることにより、従事者の業務負担軽減と介護現場の生産性向上を図り、働きやすい環境づくりの実現につながるよう、以下の取組を実施した。						
1.福祉施設への介護ロボット・ICT機器等の導入促進 施設内での移乗介護、移動支援、排せつ支援、見守り、入浴支援などの業務負担を軽減する介護ロボットの導入、見守りセンサーの導入に伴うWi-Fi等通信環境の整備、記録や情報共有、請求などの業務を支援するソフトウェアやタブレット端末等の導入等に係る経費について、介護事業所が活用できる補助金の情報収集・周知等を実施した。 令和5年度京都府介護ロボット等導入支援事業補助金 市内3事業所が活用。						
2.ケアプランデータ連携システムの導入促進 介護保険の居宅介護支援事業所と訪問介護などのサービス提供事業所の間で毎月行われている、ケアプラン等のやり取りにおける業務負担を軽減するため、クラウド上で安全に電子データのやり取りをする「ケアプランデータ連携システム」が、国民健康保険中央会において、令和5年度から本格運用が開始された。初年度であることから、関係法人や介護支援専門員会に、システムの概要について周知し、利用促進に向けた意見交換を実施した。						
取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について						
引き続き、介護ロボット・ICT機器等の導入促進に向けた情報収集や補助金活用等の周知に取り組む。ケアプランデータ連携システムについては、より多くの介護事業所が利用することが業務負担の軽減につながることから、関係機関と連携し、システムの説明会を実施するなど、利用促進に向けた取組を進める。また、介護事業所における指定申請や報酬請求等の関連文書の作成負担軽減のために国で構築された「電子申請・届出システム」の使用開始に向けた準備を進める。						

担当課	福祉企画課、高齢者支援課、障害福祉・国民年金課
-----	-------------------------